

平成 29 年度

宮崎県立図書館要覧



<目 次>

..... 【第1部】	
1 運営方針	2
2 平成29年度の主な取組	3
3 組織	4
4 当初予算	5
..... 【第2部】	
1 資料概要	8
(1) 配架別・分類別資料数	8
(2) 資料購入の推移	8
(3) 資料整備状況	9
(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	9
(5) デジタルアーカイブの状況	9
2 事業実績	10
(1) 利用事業（総括）	10
① 年度別貸出利用状況の推移	10
② 貸出利用地区別内訳	11
(2) 館内利用事業	12
① 延入室者数及び貸出冊数の推移	12
② 入館者数、登録者数、貸出冊数	13
③ 分類別図書貸出冊数	13
④ AVコーナー資料の利用状況の推移	13
⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）	14
⑥ 調査相談（レファレンス）	14
⑦ YA（ヤングアダルト）サービス	14
⑧ みどりの図書コーナー	14
⑨ 児童サービス	15
⑩ ビジネス支援サービス	15
⑪ 健康情報サービス	16
⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況	16
⑬ 複写サービス利用状況の推移	16
⑭ 各種相談事業	17
⑮ 障がい者等サービス	17
(3) 館外利用事業	18
① やまびこ文庫	18
② 子育て支援図書セット貸出	19
③ 団体文庫	20
④ 児童教育施設等	20
(4) 図書館ネットワーク事業	21
(5) 訪問支援	22
(6) 視聴覚事業	22
① 視聴覚資料等貸出月別利用状況	22

② 視聴覚行事	22
(7) 関係機関と連動した情報発信事業	25
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業）	25
② 県立図書館ギャラリー展（主催・共催事業）	27
③ 県内公共図書館における巡回展	27
(8) 文化活動事業	28
① 第58回「こどもの読書週間」記念行事	28
② 第70回「秋の読書週間」関連事業	28
③ 特別展等	29
④ 郷土史料等学習活動	30
⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業	31
(9) 郷土資料調査研究事業	33
① 『宮崎県史料』	33
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	33
③ デジタルアーカイブ事業	33
(10) ホームページ等活用事業	33
(11) 体験学習・施設見学	34
(12) 「かば先生文庫」	34
(13) 講演会等の共催	35
① 「神話のふるさと県民大学」	35
② 「わくわく文芸講座」	35
③ 「みやざき自然塾コロキウム」	36
(14) その他の取組	36
① 「牧水が見た風景 ～伊藤名誉館長と訪ねる牧水のふるさと～」	36
② 「文章づくり教室」	36
3 各種協議会等	37
(1) 県立図書館協議会	37
(2) 宮崎県立図書館ビジョン懇談会	37
(3) 宮崎県公共図書館連絡協議会	38
(4) 宮崎県地方史研究連絡協議会	40
(5) 平成29年度宮崎県立図書館資料推薦委員	42

..... 【参考資料】

1 沿革	44
(1) 県立図書館の歩み	44
(2) 歴代館長名	53
2 県立図書館条例・規則	54
(1) 県立図書館条例	54
(2) 県立図書館管理規則	54
(3) 県立図書館協議会運営規則	59
3 施設概況	60
4 利用案内	61
5 市町村立図書館一覧	62

【 第 1 部 】



「6月1日は世界牛乳の日」企画展

県立図書館では、県の重点施策や地域の課題等について広く県民の皆様を知っていただくとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的に「県政の重点施策情報発信事業」を実施しています。

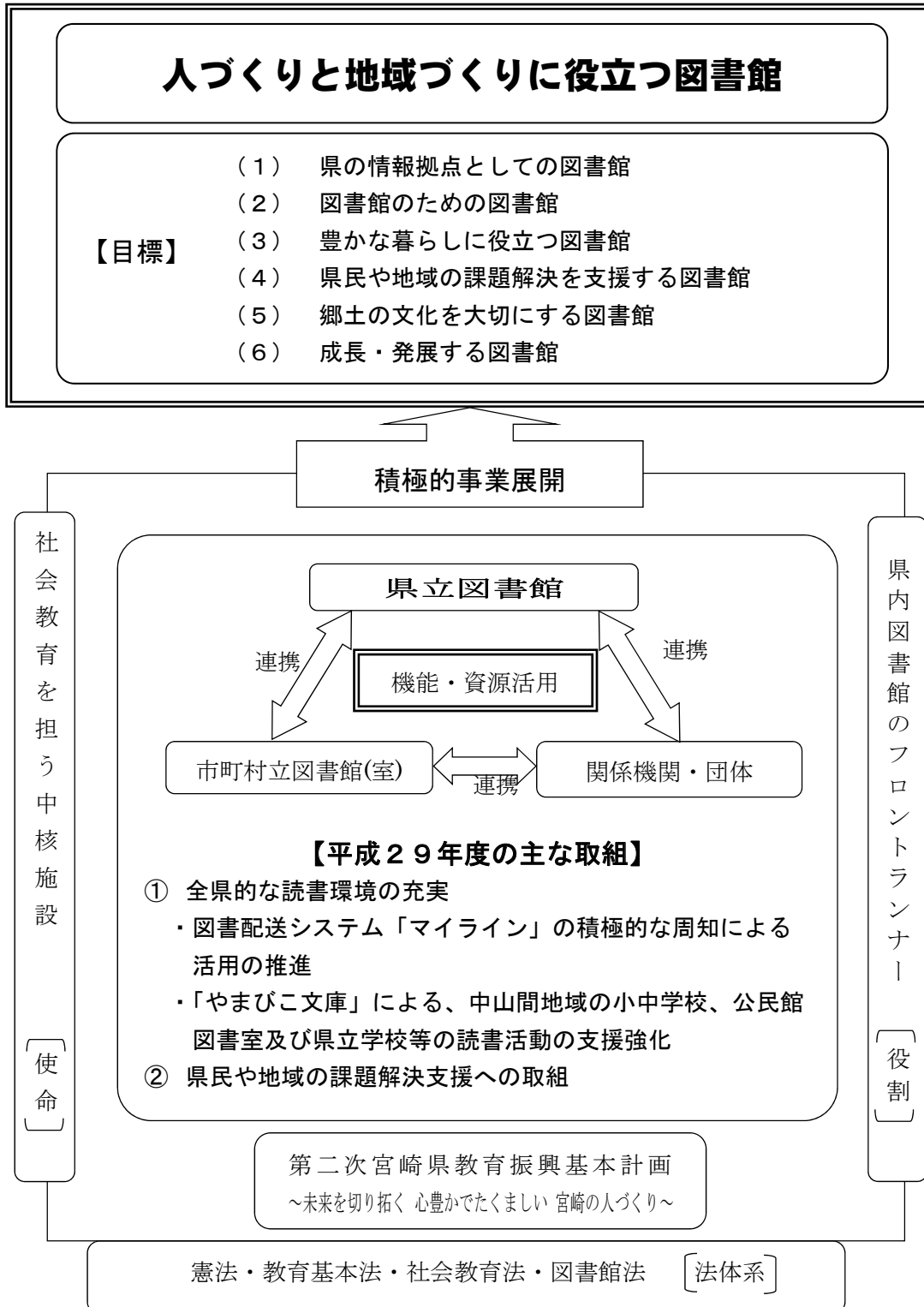
平成28年度は、県や国等の関係機関と連携し、60事業の企画展をはじめ各種イベントや相談会等を実施しました。

平成29年度宮崎県立図書館運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、図書館法並びに本県の教育振興基本計画等に基づき、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、「人づくりと地域づくりに役立つ図書館」として次の目標を掲げます。

そして、この目標に向けて市町村立図書館・室や関係機関・団体等と連携を図り、県内図書館のフロントランナーとして積極的に事業を展開します。



2 平成29年度の主な取組

1 県の情報拠点としての図書館

- (1) 県民の生涯学習支援のため、県立図書館と市町村立図書館等を結ぶ図書配送システム「マイライン」の積極的な周知により、県内全域での活用を推進し、全県的な読書環境を充実させる。
- (2) 多くの県民が必要な情報を活用できるよう、市町村立図書館との役割分担を図りながら、多様な資料の収集・整備を行うとともに、関係機関との連携を図りながら、それらの積極的な情報発信に努める。
- (3) 県立学校の学校司書エリアコーディネーターを通じて連携を図り、やまびこ文庫やマイラインを活用したセット文庫等により県立学校等を支援する。

2 図書館のための図書館

- (1) 県内図書館のパイプ役として市町村立図書館等への積極的な情報提供を行う。
また、図書館全体のサービスの向上のため、職員の資質向上や技術習得につながる研修を実施するとともに、県立図書館職員を定期的に派遣し、運営方法等について助言等を行う。
- (2) 県民の多様な貸出需要に対応するため、国立国会図書館や他県立図書館等との相互貸借などを活用し、ニーズに即した資料提供に努める。

3 豊かな暮らしに役立つ図書館

- (1) 「みどりの図書館」として、「自然と共生する環境にやさしい社会」づくりをサポートするため、関係機関と連動した資料提供、情報発信及び学習機会の提供を行う。
- (2) 県民の豊かな感性、創造力、表現力などを育み、生活をより豊かにするため、各種の講座、展示、視聴覚事業等を実施する。
- (3) 遠隔地に居住する人や来館することが困難な人のために、「やまびこ文庫」や宅配サービスにより、県立図書館の資料を利用しやすい環境を整え、読書活動を推進する。

4 県民や地域の課題解決を支援する図書館

- (1) 課題解決のための県民や行政機関等へのレファレンスサービスの充実を図るとともに、市町村立図書館職員等を対象としたレファレンス技能向上のための研修を行う。
- (2) 子どもの読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成と自立を支援するとともに、子育てに関する資料・情報の提供を行い、子どもを産み育てる家庭を支援する。
- (3) 県民の暮らしの中の様々な課題解決や地域産業の力強い営みを支援するため、民間団体等を含む各種相談機関・専門機関と連携した取組を推進する。

5 郷土の文化を大切に作る図書館

- (1) 個性と魅力ある地域づくりを支援するため、郷土に関わる貴重な資料を収集・保存し、それらの活用を図るための情報発信を行う。
- (2) 本県の価値ある言語文化に対する県民の関心を高めるとともに、その理解を深め、継承していくため、次世代に語り継ぐ人材を養成し、その活動を支援する。

6 成長・発展する図書館

- (1) 図書館サービスの向上をめざし、職員のスキルアップのためのレファレンス等に関する研修や先進事例等の積極的な情報収集と活用を図る。
- (2) 絶えず、図書館サービスの点検・評価と改善を行うとともに、効率的で時代に対応した業務体制の充実と機能の強化を図る。また、新たに図書館法に規定する「図書館評価」の実施に向けた取組を進める。
- (3) 利用者がより安心・安全に利用できるよう、施設・設備の維持管理に努めるとともに、危機管理体制を強化する。

3 組織

(1) 職員の現員調

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	主任主事	主事	社会教育主事
現員 27名	1	1	1	2	2	4	12	1	1	2

(2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p> <p>館長 金子 洋士</p> <p>副館長 本田 潤一</p> <p>専門主幹 野邊 文博</p>	<p>総務・企画課 齋藤 謙</p>	<p>総務担当 鈴木 勝代 藤元 絃美 作元 礼子 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成・執行、物品検査、歳入 ・庁舎管理（施設維持管理、施設利用等）、防火・防災、公用車管理 ・給与及び旅費、報酬、賃金、臨時職員の任用、非常勤職員の勤務・休暇整理 ・文書管理 ・連絡調整(全国公共図書館協議会,日本図書館協会、九州図書館長会、環境情報センター等)、館内調整（週間行事、日々行事等）
		<p>企画担当 柳橋 俊翁 中 啓子 大木 一成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策・事業の総合的調整、図書館協議会 ・図書館広報、図書館評価 ・図書館情報システム、ホームページ及びSNS、情報セキュリティ等の運営管理 ・連携事業、各種相談事業等 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等 ・施設利用（ギャラリー等）、調査統計
		<p>普及支援担当 緒方 和人 松原 貴子 前村 泰輔 飯野 小巻 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫の運営、BM書庫管理・活用 ・市町村貸出(マイラインシステム)運営管理 ・視聴覚事業、AVコーナーの管理 ・読書団体振興、施設利用(読書振興室) ・「未来へつなぐ宮崎の神話・民話継承人財育成」事業 ・県立学校・大学等との連携
		<p>情報総括担当 安藤 道子 山田 洋一郎 西 高志 田爪 史子 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の総合管理(収集・保存・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間
<p>情報提供課 河野 誠</p>	<p>郷土情報担当 崎田 一郎 甲斐 薫 非常勤郷土資料調査員2名 非常勤奉仕相談員1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の収集・保存・活用・データベース化 ・郷土情報のレファレンス ・特別展示室、貴重書庫、地方史研究室運営管理 ・宮崎県地方史研究連絡協議会 ・文化講座・古文書講座、展示会 	
	<p>情報提供担当 加藤 恵 戸高 瑞代 川野 香 下園 名奈美 上米良 綾子 若松 里奈 非常勤奉仕相談員 11名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室・児童図書室の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、行政資料、法律情報 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・書庫、児童文化研究室、わかばコーナーの運営 ・複写サービス、各種講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、推薦、予約 ・利用データの統計・管理 ・図書館利用に障がいのある方へのサービス 	

4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,359 千円	
財産運用収入	1,359	
財産貸付収入	1,359	
公募型財産貸付料	1,359	
繰入金	2,172 千円	
基金繰入金	2,172	
産業廃棄物税基金繰入金	1,240	
産業廃棄物税基金	1,240	
みやざき人財づくり基金繰入金	932	
みやざき人財づくり基金	932	
諸収入	829 千円	
雑収入	829	
雑入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円

(歳出)

事業名	予算額	事項名	説明
図書館費	78,583 千円	1 管理運営費 74,992 千円	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会 230	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
		3 県立図書館老朽化対策事業 3,361	屋上防水工事設計委託に要する経費
奉仕活動 推進費	105,724	1 館内奉仕・巡回文庫用資料整備 40,217	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 郷土新聞保存整備事業 1,023	郷土新聞の保存に要する経費
		3 サービスアップ事業 304	職員の技能向上に要する経費
		4 館内奉仕活動費 57,602	資料の提供、非常勤職員人件費等、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費
		5 文化活動推進費 402	文化講座(年3回)、古文書講座(年6回)開催に要する経費
		6 読書普及推進費 319	団体文庫の育成、読書普及活動の推進に要する経費
		7 AV活動推進費 1,430	AV機器及びAV資料の管理、映写会、コンサート、AV資料貸出等に要する経費
		8 図書館ネットワーク推進事業 1,199	図書配送費、公用車燃料費、市町村図書館支援のための派遣旅費
		9 インターネットホームページ事業 346	インターネットホームページによる資料提供に要する経費
		10 みどりの図書館づくり推進事業 1,186	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費
		11 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 764	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		12 未来へつなぐ宮崎の民話・神話継承人財育成事業 932	神話・民話講演会、パネル展、語り部養成講座、語り部のつどいに要する経費
郷土資料 調査研究 事業推進費	6,351	1 史料刊行費 3,890	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 貴重資料の修復・保存 2,461	貴重資料の修復・保存に係る非常勤職員報酬等
合 計	190,658		

【 第 2 部 】



みどりの図書館フェスタ

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、「文化の日」を挟む10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日までの期間が「秋の読書週間」とされています。

この期間中に、読書の楽しさや大切さを広く普及・啓発し、県民文化の向上を図るため、本の読み聞かせ、演奏などのパフォーマンス、しおりづくり体験といったイベントによる「みどりの図書館フェスタ」を毎年実施しています。

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶺南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

(1) 配架別・分類別資料数（平成29年3月31日現在）

単位（冊・点）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	10,357	877	35,718	884	400	401	48,637	6.4
1 哲学	4,888	255	18,289	823	153	3	24,411	3.2
2 歴史	13,355	1,505	51,041	1,882	1,654	306	69,743	9.2
3 社会科学	23,894	2,448	134,057	4,585	2,515	313	167,812	22.2
4 自然科学	13,344	3,981	37,859	4,734	1,389	22	61,329	8.1
5 技術	12,643	1,550	35,235	3,781	1,843	22	55,074	7.3
6 産業	11,252	862	33,803	1,424	1,016	11	48,368	6.4
7 芸術	10,289	3,244	37,919	4,088	8,062	30	63,632	8.4
8 言語	3,122	598	9,123	863	165	54	13,925	1.8
9 文学	25,775	17,673	126,202	32,656	1,192	167	203,665	27.0
計	128,919	32,993	519,246	55,720	18,389	1,329	756,596	100.0

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	24		25		26		27		28	
	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額
図書	10,768	36,284	9,677	33,621	7,828	24,810	11,732	35,361	14,038	43,147
逐次刊行物	4,447	6,230	4,112	6,358	3,099	5,028	3,303	4,954	3,351	5,525
A V 資料	146	1,195	69	1,197	133	862	74	1,194	90	1,004
計	15,361	43,709	13,858	41,176	11,060	30,700	15,109	41,509	17,479	49,376

※26・27年度は子ども読書活動推進事業を含む。

※28年度は日本一の読書県を目指した総合推進事業を含む。

(3) 資料整備状況

① 資料受入（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位（冊）

区 分	平成 28 年度受入資料数	総 資 料 数
図 書（A）	17,454	690,858
逐次刊行物（B）	4,948	新聞 45 種
		雑誌 387 種
A V 資料（C）	493	18,412
合 計（A+B+C）	22,895	756,596

② 資料受入区分別・分類別資料数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	復 活	その他	合 計
0 総 記	1,014	273	30		10	3	2		1	1,333
1 哲 学	300	52					1		20	373
2 歴 史	1,663	437	8		31	12	7		3	2,161
3 社会科学	2,797	1,619	2		123	4	12		42	4,599
4 自然科学	1,599	300	2			1	13		16	1,931
5 技 術	2,494	281	34		24		11		34	2,878
6 産 業	1,441	625			133		6		1	2,206
7 芸 術	1,951	342			12		3		32	2,340
8 言 語	208	20					8			236
9 文 学	4,012	617	2		10		54		143	4,838
計	17,479	4,566	78		343	20	117		292	22,895

(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	936
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,980

(5) デジタルアーカイブの状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

- ・ 959 件 約 5 万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開
- ・ 電子化が終了した史料は 4,029 点、閲覧用デジタルデータで約 18 万 4 千コマ
- ・ 電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩嶋津家文書、嶺南文庫など
- ・ 現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩嶋津文庫の電子化を進めている。

2 事業実績

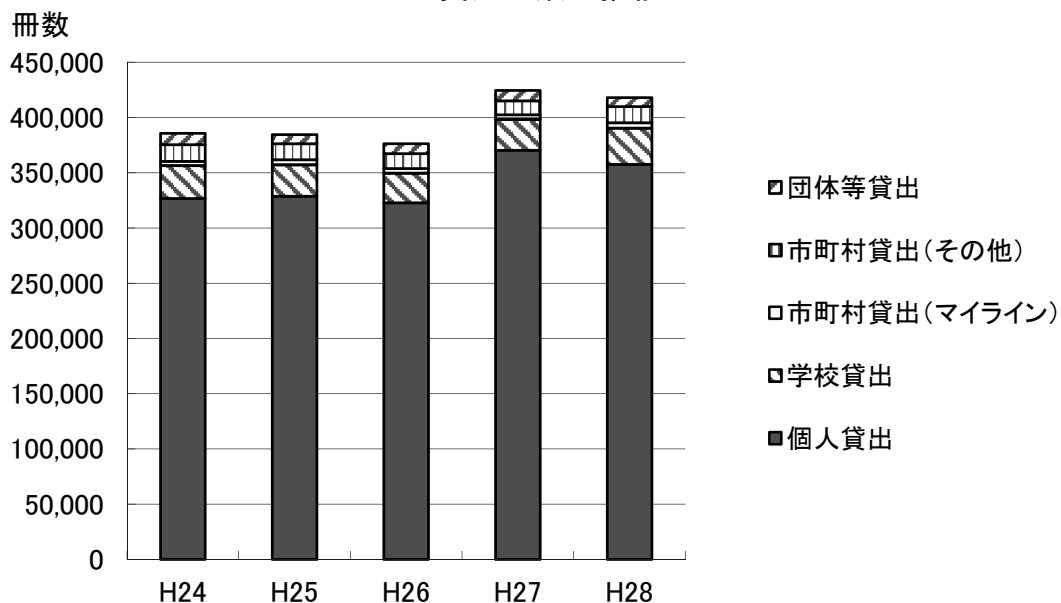
(1) 利用事業（総括）

① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度					
		2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	
開 館 日 数(日)		289	300	298	302	300	
入 館 者 数(人)		506,521	515,391	484,701	502,564	468,732	
(1 開 館 日 当 たり)		1,753	1,718	1,627	1,664	1,562	
登 録 者 数(人)		8,263	7,794	7,400	8,447	8,005	
累 計 登 録 者 数(人)		232,678	240,472	247,872	256,319	264,324	
(1 開 館 日 当 たり)		29	26	25	28	27	
貸 出 冊 数(冊)	個 人 貸 出	326,835	328,847	322,803	370,359	357,653	
	(1 開 館 日 当 たり)	1,131	1,096	1,083	1,226	1,192	
	マ イ ラ イ ン	3,973	4,609	4,107	4,294	4,900	
	巡 回 文 庫	15,061	14,533	13,158	11,800	—	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト	—	—	324	810	891	
	やまびこ文庫	町 村 支 援 事 業	—	—	—	—	12,300
		学 校 支 援 事 業	—	—	—	—	32,680
		大 量 貸 出 事 業	—	—	—	—	1,495
		児 童 教 育 施 設 事 業	2,446	2,959	4,077	4,539	3,714
	学 校 貸 出	29,576	28,384	26,896	27,910	—	
	セ ッ ト 文 庫	—	—	—	—	893	
	団 体 貸 出	7,682	5,102	4,922	4,856	3,533	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	168	104	100	74	43	
	合 計	385,741	384,538	376,387	424,642	418,102	

※やまびこ文庫は、平成28年度より事業開始。セット文庫は、平成28年度より事業改定。

貸出冊数の推移



② 貸出利用地区別内訳（平成 28 年度）

単位（冊）

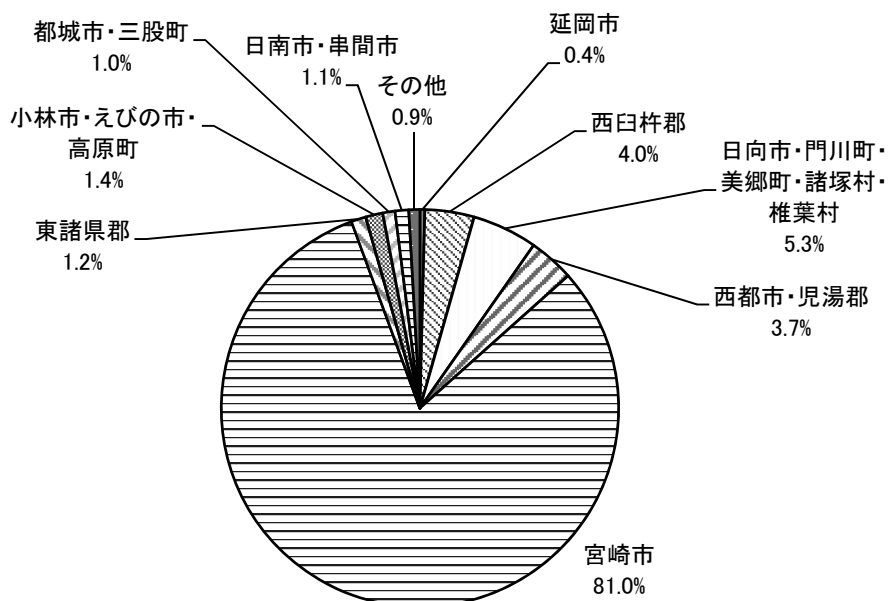
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	1,323	429				1,752
	0.4%	8.8%	-	-	-	0.4%
西 臼 杵 郡	155	378	15,970	221	162	16,886
	0.1%	7.7%	31.8%	24.7%	3.7%	4.0%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	1,207	1,044	19,163	324	324	22,062
	0.3%	21.3%	38.2%	36.3%	7.3%	5.3%
西都市・児湯郡	10,039	1,150	2,842	272	1,005	15,308
	2.8%	23.5%	5.7%	30.5%	22.7%	3.7%
宮 崎 市	327,995	116	7,714		2,933	338,758
	91.7%	2.4%	15.4%	-	66.3%	81.0%
東 諸 県 郡	4,905	150				5,055
	1.4%	3.1%	-	-	-	1.2%
小林市・えびの市 ・高原町	3,202	397	2,100	76		5,775
	0.9%	8.1%	4.2%	8.5%	-	1.4%
都 城 市 ・ 三 股 町	3,037	413	900			4,350
	0.8%	8.4%	1.8%	-	-	1.0%
日 南 市 ・ 串 間 市	2,158	823	1,500			4,481
	0.6%	16.8%	3.0%	-	-	1.1%
そ の 他	3,632					3,632
	1.0%	-	-	-	-	0.9%
合 計	357,653	4,900	50,189	893	4,424	418,059

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より開始した事業である。

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（平成 28 年度）



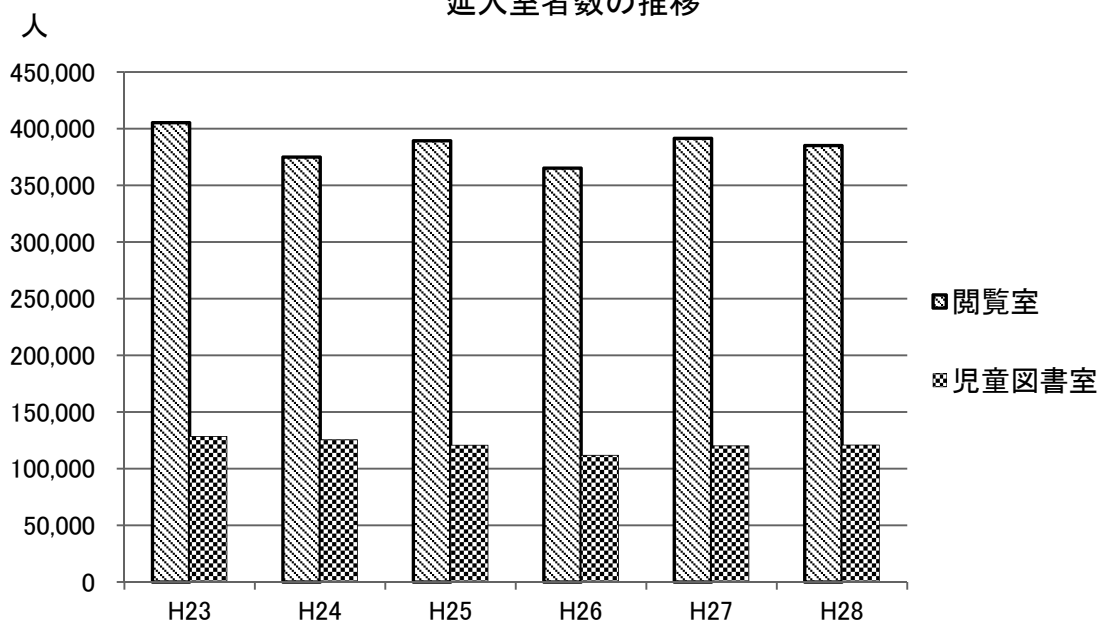
(2) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

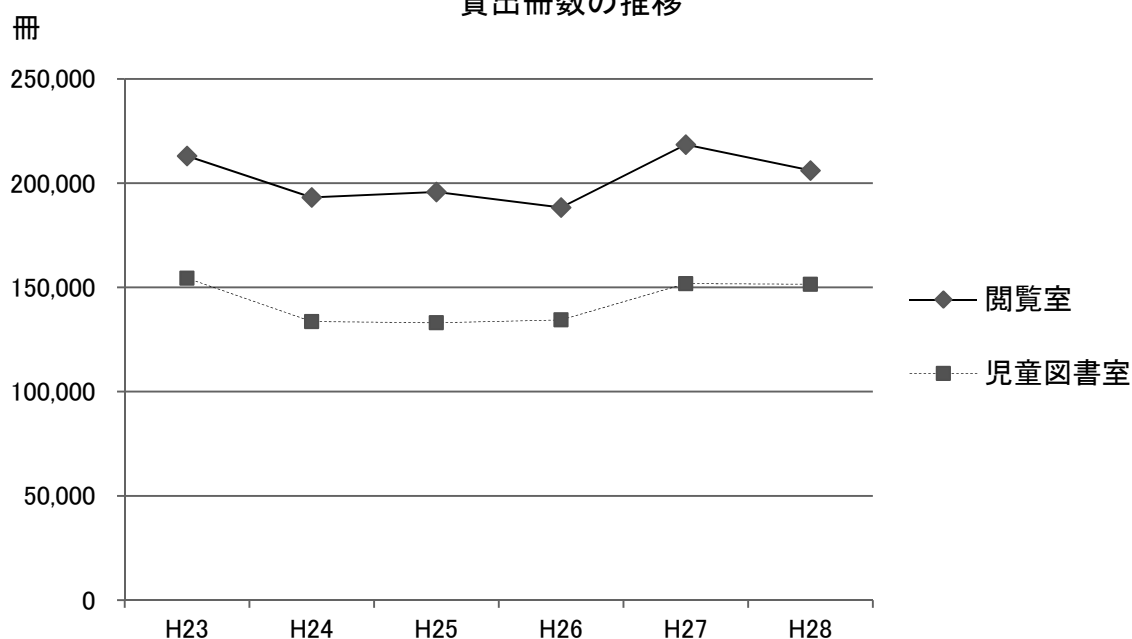
単位 (人・冊)

年度 区分	23		24		25		26		27		28	
	延入室 者数	貸出 冊数	延入室 者数	貸出 冊数	延入室 者数	貸出 冊数	延入室 者数	貸出 冊数	延入室 者数	貸出 冊数	延入室 者数	貸出 冊数
閲覧室	405,465	213,081	375,083	193,187	389,375	195,794	365,248	188,366	391,591	218,524	385,152	206,135
児童 図書室	128,547	154,456	125,536	133,648	120,824	133,053	111,842	134,437	120,206	151,835	120,995	151,518
計	534,012	367,537	500,619	326,835	510,199	328,847	477,090	322,803	511,797	370,359	506,147	357,653
1日 平均	1,768	1,217	1,732	1,131	1,701	1,096	1,601	1,083	1,695	1,226	1,687	1,192

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



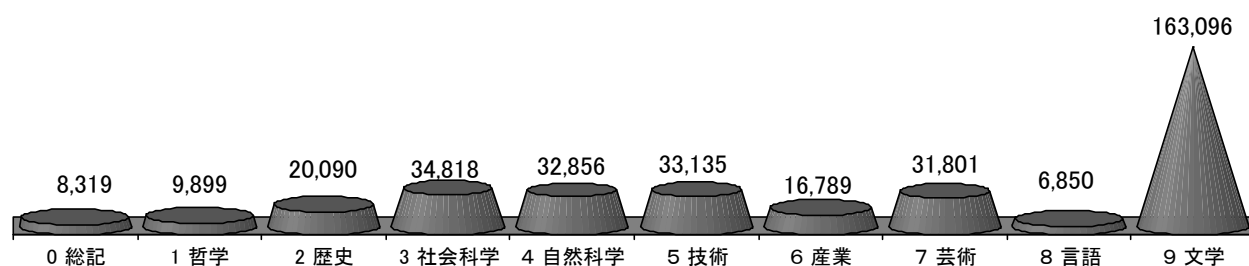
② 入館者数、登録者数、貸出冊数(平成 28. 4. 1～平成 29. 3. 31 開館日数 300 日) 単位(人・冊)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳		724		2.4	123
	7 歳～12 歳		825		2.8	156
	13 歳～15 歳		201		0.7	17
	16 歳～18 歳		286		1.0	12
	19 歳～22 歳		523		1.7	24
	23 歳～		5,446	258,026	18.2	860
計	468,732	8,005	357,653	1,562	26.7	1,192
累計 (昭和 63 年度以降)	16,281,858	264,324	11,388,905			

③ 分類別図書貸出冊数(平成 28. 4. 1～平成 29. 3. 31 開館日数 300 日) 単位(冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	6,786	1,533	8,319	28	6 産業	14,432	2,357	16,789	56
1 哲学	9,009	890	9,899	33	7 芸術	20,049	11,752	31,801	106
2 歴史	15,958	4,132	20,090	67	8 言語	5,151	1,699	6,850	23
3 社会科学	29,396	5,422	34,818	116	9 文学	58,348	104,748	163,096	544
4 自然科学	20,446	12,410	32,856	110					
5 技術	26,560	6,575	33,135	110	合計	206,135	151,518	357,653	1,192

分類別図書貸出冊数の内訳(総数 357,653 冊)



④ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位(本)

年度	23	24	25	26	27	28
区分						
利用本数	4,650	5,191	5,419	5,186	4,586	4,237
1日平均	15	18	18	17	15	14

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（平成 28 年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	7	4	7	6	3	11	8	6	4	4	6	4	70
人数	55	46	63	54	25	89	70	52	30	33	55	42	614

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受けて、蔵書資料を紹介したり情報を提供して調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（平成 28 年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書	計
件数	6,025	1,397	37	186	15	7,660

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
28	19	887	204	1,110
27	16	858	219	1,093
26	26	1,004	210	1,240

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年わかばコーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約4,500冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎきのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）

⑨ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・ 図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後2時～午後2時30分
- ・ ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後3時～午後3時30分
毎週土曜日：午後3時～午後4時

〈読み聞かせ利用者数〉（平成28年度）

単位（人）

曜日	内 訳		計
火曜日	こども	535	1,039
	大人	504	
水曜日	こども	302	574
	大人	272	
土曜日	こども	914	1,620
	大人	706	
計	こども	1,751	3,233
	大人	1,482	

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約400冊）

また、毎月第4火曜日に読み聞かせに参加する保護者を対象とした、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のための、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・ 子育て相談おはなし会相談件数（平成28年度） 延べ 139件

⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナー（図書約800冊）を設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示しているほか、毎月第一を除く木曜日と第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

また、宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で経営支援、創業支援等の分野に係る連携を円滑にし、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的に平成22年4月1日に覚書を締結しており、四者連携してのセミナー、経営・金融相談会等を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

- ・ ビジネス相談会相談受付件数（平成28年度） 延べ 35件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期 日	セミナー等の名称	参加者数（人）
1	平成28年9月15日（木）	中小企業経営セミナー	38
2	平成29年3月17日（金）	食のデザイン塾	40
合 計			78

⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナー（図書約700冊）を設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っている。

また、毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

〈「まちの保健室」の実績〉

・「まちの保健室」相談者数（平成28年度） 延べ 515人

⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席20席の計28席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（平成28年度）

・インターネット専用パソコン 延べ 5,006人
 ・持込用パソコン席 延べ 7,323人
 ・データベース席 延べ 530人

※平成26年4月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	23	24	25	26	27	28
件 数	7,426	6,697	6,847	6,167	6,310	5,505
枚 数	57,444	48,492	49,342	51,379	47,907	42,846

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施する。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのこと

ア 法律相談（平成28年度）

- 法律相談会（毎月第2金曜日）

※8月を除く、11回実施。

<月別相談件数>

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
件数	0	2	1	4	4	4	1	4	4	5	4

計33件

- 相続・遺言相談会

平成28年 8月20日（土） 相談者数 27名

- 成年後見相談会

平成28年 9月19日（月） 相談者数 17名

- 県下一斉司法書士無料法律相談会

平成29年 2月 5日（日） 相談者数114名

イ 不動産相談

- 不動産無料相談会

平成28年 4月16日（土） 相談者数 7名

平成28年10月15日（土） 相談者数 7名

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方々への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 利用登録者

平成28年度（新規） 11名

平成28年度末計 32名

- 延べ利用数

平成28年度 340冊

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

平成28年度より、移動図書館車「やまびこ」号（平成27年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM書庫で貸出を行う支援を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

平成28年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
日之影町	日之影町民センター図書室	450		美郷町立北郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立南郷図書館	1,050
諸塚村	諸塚村中央公民館	1,200	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
椎葉村	椎葉村民図書室	1,500	西米良村	西米良村立図書室	600
				合 計	12,300

〈学校支援事業〉

平成28年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学校名	配本冊数	市町村名	学校名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎葉村	松尾小学校	900
	三ヶ所小学校	1,500		椎葉中学校	1,500
	坂本小学校	1,500	諸塚村	諸塚小学校	750
	上組小学校	1,500		荒谷小学校	1,120
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		七ツ山小学校	1,000
高千穂町	押方小学校	200	西米良村	西米良中学校	600
	田原小学校	750	宮崎市	明星視覚支援学校	300
	岩戸小学校	1,500		みやざき中央支援学校	600
	上野小中学校	600		赤江まつばら支援学校	800
	田原中学校	900		みなみのかぜ支援学校	900
	延岡しろやま支援学校高千穂校	470		清武せいりゅう支援学校	1,200
宮崎海洋高等学校	200				
日之影町	日之影中学校	900	都城市	都城さくら聴覚支援学校	900
美郷町	美郷北学園	900	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
椎葉村	椎葉小学校	630	日向市	日向ひまわり支援学校	1,500
	尾向小学校	900	新富町	児湯るびなす支援学校	900
	不土野小学校	900	小林市	都城きりしま支援学校小林校	600
	小崎小学校	660		合 計	32,680
	大河内小学校	900			

イ BM書庫での貸出による支援

〈大量貸出支援事業〉

BM書庫の大量貸出により、市町村立図書館・図書室等を支援した。

平成28年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
都農町	都農町民図書館	613	美郷町	美郷町立西郷図書館	576
西米良村	西米良村立図書室	129		美郷町立南郷図書館	177
合 計					1,495

分類別利用状況(町村支援、学校支援、大量貸出支援)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	計
冊数(冊)	678	857	1,610	3,560	4,166	3,653	1,511	2,975	920	26,545	46,475
割合(%)	1.5	1.8	3.5	7.7	8.9	7.9	3.2	6.4	2.0	57.1	100.0

② 子育て支援図書セット貸出

育児書や幼児用絵本などの子育て支援図書セットを町村の図書館・図書室へ貸し出し、子育て支援センターや子育て世代等に活用してもらうことにより、県立図書館に来られない子育て世代の支援を行った。

〈平成28年度貸出状況〉

町 村 名	図書館・図書室名	回 数	セット数(貸出冊数)
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3(81)
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3(81)
西米良村	西米良村立図書室	3	3(81)
川南町	川南町立図書館	3	3(81)
高鍋町	町立高鍋図書館	3	3(81)
都農町	都農町民図書館	3	3(81)
美郷町	美郷町立西郷図書館	3	3(81)
	美郷町立北郷図書館	3	3(81)
	美郷町立南郷図書館	3	3(81)
木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	3	3(81)
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	3	3(81)
合 計		33回	33セット(891冊)

③ 団体文庫

平成29年度 団体文庫登録団体一覧（平成29年4月1日現在）

No.	団体名	市町村	登録種別	登録年月	No.	団体名	市町村	登録種別	登録年月
1	あじさい読書会	宮崎市	研究団体 【小説】 読み聞かせ ボランティア	昭54.7	13	ピーターラビットおはなしクラブ	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平18.11
2	いずみ一座	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平25.8	14	びろうじゅ	宮崎市	研究団体 【短歌】	平元.11
3	えほんといっしょ	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平15.1	15	MARI	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平26.10
4	大宮小読み聞かせサークルひまわり	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平23.4	16	みなみかぜ	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平12.4
5	おはなしころりん	高鍋町	読み聞かせ ボランティア	平15.7	17	宮崎至慶幼稚園絵本の会	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平17.10
6	おはなし つたや	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平26.4	18	ラボ・ミヤザキ	宮崎市	研究団体 【絵本】 読み聞かせ ボランティア	平26.4
7	くれよん	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平19.6	19	宮崎県現代川柳協会	宮崎市	研究団体 【川柳】	平28.4
8	シルバーケア短歌会「空の会」	宮崎市	研究団体 【短歌】	平26.1					
9	サンシャインフレンズ	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平4.11					
10	ツバナ文庫	宮崎市	私設文庫 読み聞かせ ボランティア	平2.4					
11	西池小学校支援ボランティア「お話しの部屋」	宮崎市	読み聞かせ ボランティア	平13.10					
12	(公財)野村生涯教育センター	宮崎市	研修団体	平10.8					

④ 児童教育施設等

平成29年度 児童教育施設等一覧（平成29年4月1日現在）

No.	団体名	市町村	登録種別	登録年月	No.	団体名	市町村	登録種別	登録年月
1	社会福祉法人 南方保育園	宮崎市	教育施設	平12.4	7	小松台児童クラブ	宮崎市	教育施設	平24.10
2	宮崎県中央福祉こどもセンター	宮崎市	教育施設	平21.6	8	住吉児童クラブ	宮崎市	教育施設	平25.7
3	宮崎大学教育文化学部 附属幼稚園	宮崎市	教育施設	平25.10	9	宮崎児童クラブ	宮崎市	教育施設	平26.3
4	檜北児童クラブ	宮崎市	教育施設	平24.4	10	西池児童クラブ	宮崎市	教育施設	平12.6
5	瓜生野児童クラブ	宮崎市	教育施設	平20.7	11	東大宮児童クラブ	宮崎市	教育施設	平12.10
6	大宮児童クラブ	宮崎市	教育施設	平22.9					

(4) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位 (冊)

	施設名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	214	203	75	64	57
3	都城市立図書館	148	158	104	111	134
4	都城市立高城図書館	30	18	18	10	18
5	延岡市立図書館	297	353	344	297	360
6	延岡市立図書館北方分館	20	38	70	58	52
7	延岡市立図書館北浦分館					
8	延岡市立図書館北川分館					17
9	日南市立図書館	425	458	603	518	704
10	小林市立図書館	215	216	160	160	176
11	日向市立図書館	365	304	294	454	425
12	串間市立図書館	158	147	114	137	119
13	西都市立図書館	66	66	73	48	250
14	えびの市民図書館	89	82	59	70	61
15	三股町立図書館	242	187	289	204	231
16	国富町立図書館	2	2	7		6
17	綾てるは図書館	163	187	154	111	144
18	町立高鍋図書館	175	132	208	227	168
19	新富町図書館	156	203	197	194	101
20	川南町立図書館	72	79	89	110	113
21	都農町民図書館	164	203	169	164	325
22	門川町立図書館	46	70	64	51	88
23	美郷町立西郷図書館	159	192	234	298	233
24	美郷町立北郷図書館	148	176	64	102	154
25	美郷町立南郷図書館	78	144	111	120	82
26	高千穂町立図書館	25	161	204	181	259
27	宮崎市清武文化会館図書室	94	83	61	69	
28	宮崎市田野公民館図書室			7	5	16
29	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室			6	70	43
30	都城市山之口地区公民館図書室					
31	都城市山田総合センター図書室		1			16
32	都城市高崎たちばな学び館図書室	8	3	40	13	14
33	高原町中央公民館図書室	111	355	112	179	160
34	西米良村立図書室	60	53	12	27	12
35	木城町総合交流センターリパリス図書室	196	282	156	212	181
36	諸塚村中央公民館図書室	46	43	3	12	44
37	椎葉村民図書室					18
38	日之影町民センター図書室					1
39	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1	10	6	18	83
40	県立五ヶ瀬中等教育学校					35
	合計	3,973	4,609	4,107	4,294	4,900

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館（本館）にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館（本館）にて一括計上。

(5) 訪問支援

平成28年度から、市町村図書館ややまびこ文庫登録県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。

〈平成28年度定期訪問状況〉

全市町村立図書館・室を対象とし、定期訪問を実施した。訪問の回数は、やまびこ文庫登録図書館・室（10館・室）が各3回、やまびこ文庫未登録図書館・室（35館・室）が各1回の合計65回であった。

〈平成28年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
2月15日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
2月20日	さくら聴覚支援学校	図書館運営
3月28日	延岡しろやま支援学校高千穂校	図書館運営
3月30日	高原町中央公民館図書室	図書館運営（図書室リニューアルに伴う支援）

(6) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4月	0	0	0	10	10	1,766
5月	8	8	95	6	9	1,254
6月	3	3	17	7	7	490
7月	4	4	160	18	18	503
8月	5	5	10	6	6	158
9月	5	7	26	9	9	240
10月	10	10	329	6	6	488
11月	0	0	0	4	4	245
12月	7	7	301	5	5	504
1月	1	2	335	0	0	0
2月	0	0	0	4	7	189
3月	0	0	0	9	9	450
合計	43	46	1,273	84	90	6,287

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者 (人)
1	5月5日(木)	「白雪姫」	19
2	6月7日(火)	チルビー4「しゅくだい」レオ・レオニ「スイミー」「うずらちゃんのかくれんぼ」	7
3	7月5日(火)	エブとフロー「新しいともだち」めいたんていラスカル「きえた おはなの なぞ」くまのがっこう「ジャッキーのじてんしゃりょこう」	4
4	7月30日(土)	「サミーとシェリー ～七つの海の大冒険～」	52
5	8月11日(木)	「きょうは なんて うんが いいんだろう」「はらぺこおおかみと ぶたのまち」「おじゃる丸スペシャル～わすれた森のヒナタ～」	108
6	9月6日(火)	レオ・レオニ「コーネリアス」トムとジェリー「仲間割れ」「恋のとりこ」めいたんていラスカル「わらわらない ライオンの なぞ」	16
7	10月4日(火)	チルビー6「りんごがひとつ」チルビー3「どうぞのいす」エブとフロー「エブが大げが?」「いつも一緒」	18
8	12月6日(火)	チルビー6「ターちゃんのでぶくろ」レオ・レオニ「フレデリック」トムとジェリー「にわとりのお婆さん」「星空の音楽会」	23
9	12月23日(金)	「小公女セーラ」	58
10	1月28日(土)	「グスコブドリの伝記」	13
合 計			318

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者 (人)
1	4月13日(水)	「深夜食堂」 (2015年：日本)	68
2	5月5日(木)	「地平線のキックオフ」 (2013年：スイス・エチオピア合作)	47
3	5月31日(火)	「月面中継 成功への軌跡」 (2009年：アメリカ)	42
4	7月6日(水)	「マフィアは夏にしか殺らない」 (2013年：イタリア)	61
5	7月30日(土)	「黒いオルフェ」 (1956年：フランス)	61
6	8月11日(木)	「飛べ!ダコタ」 (2013年：日本)	53
7	9月2日(金)	「私の、息子」 (2013年：ルーマニア)	63
8	9月21日(水)	「相田みつをの世界 ことばのひみつ ～詩がうまれるまで～」 (2008年：日本) 「二本の木～がんで逝った夫婦815日の記録～」 (2010年：日本)	58
9	10月13日(木)	「NO (ノー)」 (2012年：チリ)	48
10	11月18日(金)	「もういちど」 (2014年：日本)	52
11	12月23日(金)	「いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～」 (2012年：日本)	89
12	1月28日(土)	「スターダストの女王」 (1974年：アメリカ)	71
13	2月28日(火)	「育子からの手紙」 (2010年：日本)	73
合 計			786

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体や演奏家を招き、解説や朗読などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	5月3日(火)	宮崎大学吹奏楽部による演奏 NHK宮崎放送局アナウンサーによる朗読	約130
2	8月28日(日)	夏のレコードコンサート テーマ『図書館コレクション 名曲の数々vol.1』	約80
3	11月3日(木)	G音楽たいによる演奏 (みどりの図書館フェスタのステージイベント)	—
4	12月18日(日)	冬のレコードコンサート テーマ『図書館コレクション 名曲の数々vol.2』	48
5	3月12日(日)	春のレコードコンサート テーマ『図書館コレクション 名曲の数々vol.3』	71
合 計			約329

※合計は第3回を除く。

〈緑陰ビデオセミナー〉

子どものための自然環境に関する講座を通して自然についての理解を深めるとともに、生涯学習への関心・意欲を高めるため、講座を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	6月16日(木)	DVD上映「ミラクルバナナ」	23
合 計			23

(7) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

節	期 日	場 所	連動機関	内 容
1	4月 5日（火）～ 4月17日（日）	ギャラリー	家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展
2	4月19日（火）～ 5月 8日（日）	ロビー	オールみやざき営業課	JICAボランティア活動紹介パネル展
3	5月10日（火）～ 5月22日（日）	ギャラリー	衛生管理課	狂犬病予防注射月間
		ロビー	建築住宅課	あなたの家は大丈夫？～震災に備え、耐震化を～
4	5月24日（火）～ 6月 5日（日）	ギャラリー	畜産振興課	「牛乳の日」企画展
			環境森林課	みどりの特別企画展2016
		ロビー	健康増進課	6月4日は、むし歯予防の日
5	6月 7日（火）～ 6月19日（日）	ギャラリー	総合政策課	「ディスカバー宮崎」企画展
			総合政策課	宮崎県総合計画、宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略
			砂防課	平成28年度「土砂災害防止月間」パネル展
6	6月21日（火）～ 7月 3日（日）	ギャラリー	港湾課	「みやざきの港」特別企画展
			生活・協働・男女参画課	「男女共同参画週間」パネル展
		ロビー	生活・協働・男女参画課	「県民との協働」パネル展
7	7月 5日（火）～ 7月18日（月）	ギャラリー	環境管理課	水辺環境調査パネル展
			環境管理課	浄化槽適正管理啓発パネル展
			河川課	次代へつなげよう！魅力あるみやざきの川と海！
		ロビー	オールみやざき営業課	日本のひなた宮崎県PR展示
8	7月20日（水）～ 7月31日（日）	ロビー	統計調査課	統計グラフコンクール作品展
9	8月 2日（火）～ 8月14日（日）	ギャラリー	健康増進課	ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展
		ギャラリー	福祉保健課	みんなで知ろう！福祉のしごと
		ロビー	生活・協働・男女参画課	「女性のチャレンジ応援」パネル展
10	8月16日（火）～ 8月28日（日）	ギャラリー	道路保全課	平成28年度道路防災週間に伴う写真パネル展示
			長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり月間展
		ロビー	企業局	来て見て知って 宮崎県企業局のおしごと
11	8月30日（火）～ 9月11日（日）	ギャラリー	福祉保健課	自殺予防週間パネル展
			生活・協働・男女参画課	地域安全活動に関するパネル展
			県警本部生活安全企画課	全国地域安全運動ポスター展
		ロビー	情報政策課	マイナンバー制度について

節	期 日	場 所	連動機関	内 容
12	9月13日(火)～9月25日(日)	ギャラリー	健康増進課	「目指せ!長寿 日本一」パネル展
			医療・介護連携推進室	「健康長寿日本一」推進企画展(介護予防・認知症編)
			衛生管理課	人と動物とのより良い絆づくり(動物愛護週間)
		ロビー	消費生活センター	多重債務問題啓発パネル展
13	9月27日(火)～10月10日(月)	ギャラリー	林業技術センター	森林・林業にふれてみませんか!
			環境森林課・みやざきの森林づくり推進室	「森林づくり推進期間」「エナコロジーマンス」共同展
		ロビー	中山間・地域政策課	中山間地域をみんなで支える県民運動
14	10月12日(水)～10月23日(日)	ギャラリー	生涯学習課	県民総ぐるみによる教育の推進
			労働政策課	「仕事と家庭の両立応援宣言」10周年特別企画
		ロビー	精神保健福祉センター	第64回精神保健福祉普及運動～思春期こころの健康～
16	11月 8日(火)～11月20日(日)	ギャラリー	農村計画課	世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域
			中山間・地域政策課	霧島ジオパーク展
			中山間・地域政策課	祖母傾山系をユネスコエコパークに!
		ロビー	宮崎県租税教育推進中央協議会	「税を考える週間」特別企画
17	11月22日(火)～12月 4日(日)	ギャラリー	生活・協働・男女参画課	「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展
			スポーツ振興課	“1130”県民運動ライフスポーツ推進事業
			県警本部犯罪被害者支援室	犯罪被害者支援に関する企画展
		ロビー	商工政策課	平成28年度宮崎県中小企業大賞表彰の受賞企業について
18	12月 6日(火)～12月18日(日)	ギャラリー	人権同和対策課	人権に関する作品展
			環境森林課	「地球温暖化防止月間」展
		ロビー	循環社会推進課	食品ロスを減らそう 食べきり忘年会
			オールみやざき営業課	北朝鮮当局による人権侵害問題啓発パネル展
19	1月11日(水)～1月22日(日)	ギャラリー	障がい福祉課	人にやさしい福祉のまちづくり展
			生活・協働・男女参画課	交通安全啓発ポスター等展示会
		ロビー	総合政策課	「みやざき東京オリンピック・パラリンピック おもてなしプロジェクト」企画展
20	1月24日(火)～2月 5日(日)	ギャラリー	環境森林課	「省エネルギー月間」展
			文化文教課	みやざきの「ひと」
		ロビー	スポーツ振興課	児童生徒が自分で作る「みやざき弁当の日」
21	2月21日(火)～3月 5日(日)	ギャラリー	県警本部生活環境課	サイバー犯罪被害防止パネル展
			福祉保健課	自殺対策強化月間パネル展
22	3月 7日(火)～3月20日(月)	ギャラリー	危機管理課	防災企画展
		ロビー	循環社会推進課	食品ロスを減らそう 食べきり送別会
				合計60事業

② 県立図書館ギャラリー展（主催・共催事業）

No.	担 当	共催機関	実施機関	内 容
1	情報提供担当	情報提供課	4/19～5/8	こどもの読書週間企画展
2	企画担当	NOSA I 連宮崎	5/10～5/22	「みやざきの農村」写真展
3	普及支援担当		6/7～6/19	ありがとう！移動図書館車 「やまびこ号」展
4	企画担当	県総合農業試験場 県畜産試験場 県水産試験場 九州農政局宮崎地域センター	7/20～7/31	夏休み特別企画展
5	情報提供担当	精神保健福祉センター	10/12～10/23	第64回精神保健福祉普及運動
6	情報提供担当		10/25～11/6	「秋の読書週間」企画展
7	企画担当	宮崎県租税教育推進中央協議会	11/8～11/20	「税を考える週間」特別企画
8	情報提供担当	福祉保健課	2/21～3/5	自殺対策強化月間パネル展

③ 県内公共図書館における巡回展

No.	実施場所	共催機関	実施期間	内 容
1	宮崎市立佐土原図書館	衛生管理課	9/28～10/9	動物愛護週間
2	都城市立図書館	長寿介護課	10/8～10/23	シニアパワー
		統計調査課	11/1～11/20	統計グラフコンクール
3	串間市立図書館	統計調査課	8/9～8/21	統計グラフコンクール
		長寿介護課	10/13～10/25	シニアパワー
4	西都市立図書館	統計調査課	6/22～7/8	統計グラフコンクール
		スポーツ振興課	7/13～7/26	みやざき弁当の日
		長寿介護課	8/5～8/26	シニアパワー
		健康増進課	10/4～10/18	健康長寿日本一
		文化文教課	11/7～11/22	みやざき百人一首
		循環社会推進課	12/13～12/28	食品ロスを減らそう
5	えびの市民図書館	畜産新生推進局	2/14～3/7	口蹄疫パネル展
6	三股町立図書館	スポーツ振興課	5/10～6/10	みやざき弁当の日
		文化文教課	7/5～7/17	みやざきの「ひと」
		文化文教課	10/4～10/16	みやざき弁当の日
		文化文教課	12/6～12/18	みやざき百人一首
7	綾てるは図書館	循環社会推進課	2/14～2/28	食品ロスを減らそう
8	都農町民図書館	長寿介護課	8/30～9/25	シニアパワー
		環境森林課	5/27～6/29	みどりの特別企画展2016
		総合政策課	7/1～7/21	県総合政策・戦略パネル展
		生活・協働・男女参画課	8/4～8/31	女性のチャレンジ応援
		長寿介護課	11/2～11/28	シニアパワー
9	美郷町立南郷図書館	中山間・地域政策課	1～2月	中山間地域をみんなで
		文化文教課	6/7～6/19	みやざきの「ひと」
10	きよたけ児童文化センター	スポーツ振興課	8/10～8/30	みやざき弁当の日
		文化文教課	4/5～4/17	みやざき百人一首
		統計調査課	5/17～5/29	統計グラフコンクール
		環境森林課	6/17～6/29	みどりの特別企画展2016
		文化文教課	8/2～8/16	みやざきの「ひと」
		環境森林課	2/17～2/28	「省エネルギー月間」展

(8) 文化活動事業

① 第58回「こどもの読書週間」記念行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の行事を実施した。

期 間 平成28年4月19日（火）～5月8日（日）

内 容

ア 科学あそび「ドライアイスであそぼう！」

講師：佐藤和子氏（「科学読物研究会」会員）

イ ワークショップ「しかけのあるえほんをつくろう！」

講師：児童図書室担当職員

内容：紙や牛乳パックを使って、かんたんな「しかけ絵本」を作成

ウ 企画展示

科学の本、布の絵本、おもちゃ、しかけ絵本などの展示

児童特本コーナー（大活字本等）の展示 など

エ おはなし会

ボランティア団体、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせ

オ 緑陰コンサート(こども向けの音楽会)

カ こども映写会(アニメ映画「おじゃる丸」)

② 第70回「秋の読書週間」関連事業 平成28年度「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、昭和22年に（社）読書推進運動協議会によって第1回「読書週間」が開催された。以後、毎年「文化の日」を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間が「秋の読書週間」となり、日本の国民的行事として定着している。

県立図書館においても、イベントを通じて読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図ることを目的に「みどりの図書館フェスタ」を実施した。

期 日 平成28年11月3日(木)「文化の日」

内 容

ア オープニング・緑陰コンサート（吹奏楽演奏）

イ おはなしを楽しもう①（学生ボランティアによる読み聞かせ）

ウ 手品&バルーンアートショー

エ ビブリオバトル（高校生と大学生による書評合戦）

オ おはなしを楽しもう②（図書館職員による大型絵本の読み聞かせ、エプロンシアター）

カ 優良読書団体表彰・読み聞かせ

キ エンディング（みやざき犬ステージ in 図書館）

ク お楽しみ抽選会

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。平成28年度は、宮崎県の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や諸機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

<特別展>

明治の村絵図

期 間 平成28年7月5日(火)～8月14日(日) 開催日数：41日
内 容 本館が所蔵する嶮南文庫に含まれる村絵図等の紹介をとおして、それらが存在するに至った明治初年の行政区の変遷やそこに描き込まれた情報等を紹介した。また、日向地誌の編纂作業でこれらの村絵図を収集した平部嶮南の仕事も紹介した。

山伏の歩いた日向路 ～野田泉光院の旅日記～

期 間 平成28年9月27日(火)～11月6日(日) 開催日数：41日
内 容 江戸時代(19世紀後半)に野田泉光院が著した『日本九峰修行日記』を展示し、郷土の先人の偉業を紹介した。また、そこに記された行程と立ち寄った場所の庶民のくらしを紹介した。

<企画展>

ぶらぶら日向路

期 間 平成28年4月26日(火)～6月5日(日) 開催日数：41日
内 容 大正から昭和初期の画像資料や観光ガイドブック、絵はがき等を展示して当時の観光地や旅行について紹介した。

<テーマ展>

酉(とり)

期 間 平成29年1月24日(火)～2月12日(日) 開催日数：20日
内 容 平成29年が酉年であることから、干支の「酉」や「鶏」に関する歴史資料や絵図、古典籍を展示して、日本人が鶏に持っていた様々な認識を紹介した。

<巡回展>

近世成立期の日向国 ～佐土原藩を中心に～

会場・期間 日向市立図書館 (6/7(火)～6/26(日))
日南市小村記念館 (8/9(火)～8/21(日))
えびの市歴史民俗資料館 (9/13(火)～10/2(日))
都城市立図書館 (12/6(火)～12/25(日))
延岡市立図書館 (2/7(火)～2/26(日))

内 容 平成27年度に実施した特別展「近世成立期の日向国 ～佐土原藩を中心に～」を再構成し、県内5会場で市町村教育委員会と各施設との共催で実施した。

<共催展>

遺跡発掘速報展2016

期 間 平成28年8月19日(金)～9月11日(日)
内 容 宮崎県埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を実施し、近年報告書を刊行または整理作業を行った遺跡に関する展示を実施した。
8月21日(日)には、「遺跡発掘速報会 一発掘調査最前線2016一」と題した調査結果の速報会も開催した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りを持ち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の視聴覚室において次のとおり実施した。

受講者計 95名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	6月25日(土)	気象庁による火山監視・情報の発表と霧島山火山の最近の主な火山活動	宮崎地方気象台 小泉 岳司 氏	31
2	7月23日(土)	伊豆国の伊東氏と日向入国	郷土史家 末 永 和 孝 氏	56
3	8月27日(土)	霧島ジオパークと霧島の歴史	高原町役場 大 學 康 宏 氏	19

〈古文書講座〉

当館が所蔵する近世史料をテキストに、年6回の古文書解説を実施した。

古文書に対して親しみを感じてもらうと同時に、本県の歴史についても理解を深めていただくことを目的とする。

受講者計 208名

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	6月9日(木)	講座① 古文書に親しむ (全4回)	筆耕解説員 中 元 暢 一 氏 高 松 恵 美 子 氏 柘 植 幹 雄 氏	43
2	6月16日(木)			29
3	7月7日(木)			38
4	7月14日(木)			30
5	11月26日(土)	講座② 『萬覚書』を読む (全2回)	宮崎公立大学 教授 大 賀 郁 夫 氏	37
6	12月17日(土)			31

⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業

宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化に関心を持ってもらい、県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進し、記紀編さん1300年の展開を図った。

<講演会>

記紀、宮崎の神話・伝承等に関する著名な研究者を招聘し講演会を開催した。

期 日	演 題	講 師	会 場	参加者数
6月5日(日)	英雄が訪れる地 —川南町—	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	川南町立 図書館	33人
6月11日(土)	記紀にみる髪長比売の物語	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	都城市 中央公民館	21人
9月11日(日)	宮崎県民話のすばらしさを 発見しよう	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	都城市 中央公民館	6人
9月17日(土)	宮崎県民話のすばらしさを 発見しよう	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	川南町立 図書館	11人

<語り部養成講座>

シニア世代や読書活動ボランティア等を対象に、神話・伝承や民話の知識と語りの技法を学ぶための講座を開催した。

ア 都城会場(都城市立図書館、都城市中央公民館)

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月9日(土)	講義 「都城市の神社にまつられた神々の物語」	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	延べ 42人
		講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その1」	宮崎市神話・観光が「ト」 ボランティア協議会 会長 岡田 勝運 氏 宇都 裕子 氏	
2	8月6日(土)	講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その2」	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	
3	10月8日(土)	講義 「宮崎県民話の魅力を語り伝えよう」	都城おかしむじ会 代表 竹原 由紀子氏	
		講義・演習 「語り部活動への挑戦」		
4	11月12日(土)	講義・演習 「人の心を移す語り部活動への挑戦」		

イ 川南会場(川南町立図書館)

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月16日(土)	講義 「川南町の神社にまつられた神々の物語」	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	延べ 77人
		講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その1」	宮崎市神話・観光が「ト」 ボランティア協議会 会長 岡田 勝運 氏 宇都 裕子 氏	
2	8月20日(土)	講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その2」	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	
3	10月15日(土)	講義 「宮崎県民話の魅力を語り伝えよう」	ととろ三人の会 代表 田部 外美 氏	
		講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その1」		
4	11月19日(土)	講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その2」		

<巡回展>

記紀、宮崎の神話・伝承等に関するパネルを県内公共図書館等にて巡回展示した。

ア 川南会場

期 日	開催日数	会 場
7月12日(火)～ 7月28日(木)	17日	川南町立図書館

イ 都城会場

期 日	開催日数	会 場
1月17日(火)～ 1月29日(日)	13日	都城市中央公民館

<みやざき語り部のつどい>

県内の語り部の資質向上や県民に対して宮崎の言語文化を継承しようとする気運醸成を図るための発表会等を実施した。

日 程	内 容	備 考
12月10日(土) 午前の部	全体会 過去の受講者の語りの発表(神話・民話各1名)及び パネルディスカッション 【神話】宮崎市神話観光ガイドボランティア協議会 岡田 勝運 氏、宇都 裕子 氏 【民話】都城語り部おかしむじ会代表 竹原 由紀子 氏 【語り部】・・・2名(過去の受講者)	
午後の部	【パネルディスカッション・コーディネーター】 宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏 講演 講師 皇學館大学 教授 毛利 正守 氏 演題『天照大御神の生誕地・日向神話の魅力』	

<語り部派遣>

過年度「語り部養成講座」受講者の方から、語り部として図書館行事への派遣を実施した。

日 時 6月12日(日) 午後2時45分から午後3時45分まで
場 所 都農町民図書館 2階 視聴覚室
内 容 民話の語り
語り部 山内 文代 氏

(9) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタルアーカイブの推進を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

平成28年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）』を刊行した。（120部印刷）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

平成28年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第43輯』を刊行した。（120部印刷）

③ デジタルアーカイブ事業

959点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

平成28年度は「佐土原藩嶋津家文庫」と「佐土原藩嶋津家江戸日記」の電子化事業を実施している。

(10) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索及び県内公共図書館等の横断検索
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットからの予約申し込み

また、ホームページと並行してSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成28年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年度	22	23	24	25	26※	27	28
件数	114,549	128,534	102,916	135,346	119,867	148,444	157,479

※平成26年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成27年2月中旬から平成27年3月中旬の間は件数に反映されていない。

〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年度	28
件数	63,429

(11) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館されるのに加え、県総合文化公園一帯に隣接する県の文化施設を巡る4館見学ツアー（美術館、芸術劇場、総合博物館、図書館）も実施している。（※平成24年度から「3館見学ツアー」として事業開始。その後平成28年度から芸術劇場も加わり、「4館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習や司書実習、インターンシップなども積極的に受け入れている。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延人数	備 考
幼稚園・保育所	7	277	
小 学 校	19	1,232	
中 学 校	10	235	職場体験学習 8校 17名
高 等 学 校	1	4	職場体験学習 1校 4名
特別支援学校	2	91	職場体験学習 1校 1名
大 学	2	4	司書実習 1校 1名 インターンシップ 1校 3名
そ の 他	9	150	
計	50	1,993	

(12) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書の寄贈申出があり、亡くなられた先生の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けた。

〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年 2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年 4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー

- ・「かば先生文庫」整備数（平成29年3月31日現在）
1,342冊（内訳 児童図書室 564冊、BM書庫 778冊）

(13) 講演会等の共催

県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により講演会等を実施した。

① 「神話のふるさと県民大学」

主催：宮崎県立看護大学

内容：記紀、神話等をテーマとした、県内外の講師による対談、講演等。県内3大学が主催する「リレー講座」全7回のうち、宮崎県立看護大学主催分4回を当館で開催。

(会場：研修ホール)

期 日	演 題	講 師	参加者
9月3日 (土)	対談 「世界の聖婚伝承と日向神話」	大館 真晴 氏 (宮崎県立看護大学教授) 平藤喜久子氏 (國學院大學准教授)	1 2 4
9月10日 (土)	鼎談 「こころ・場所・からだ ～神楽が教えてくれる もの～」	上野 誠 氏 (奈良大学教授) 伊藤 一彦 氏 (歌人、当館名誉館長) 関 知子 氏 (MRT 宮崎放送ラジオ局長)	1 2 7
9月24日 (土)	鼎談 「みやざき百人一首の魅力」	小島 なお 氏 (歌人) 小島ゆかり氏 (歌人) 伊藤 一彦 氏 (歌人、当館名誉館長)	1 3 3
10月1日 (土)	講演 「ウミサチビコとヤマサチビコ～日向神話を読む～」	三浦 佑之 氏 (立正大学教授、千葉大学名誉教授)	1 2 0

※参加者数は宮崎県記紀編さん記念事業推進室調べ

② 「わくわく文芸講座」

主催：宮崎県教職員互助会

内容：教職員等だけでなく、広く一般県民も対象とした文化芸術振興事業等の公益事業の一環として開催。(会場：視聴覚室、研修室)

期 日	区 分	内 容	講 師	参加者
7月10日 (日)	全体会 【講演】	演題 「日本近代史の音楽性について」	松浦 寿輝 氏	1 0 7
	第1分科会 【小説】	○テーマ 「作品のテーマと題材について」	鶴ヶ野 勉 氏	8
	第2分科会 【エッセー・詩】	○テーマ 「現代文の用字法～美しく分かりやすい表現とは・常用漢字表の改訂、アラビア数字表記の増加などが意味するもの」	杉谷 昭人 氏	2 7
	第3分科会 【短歌】	○テーマ 「日常詠について～作歌の基本～」	志垣 澄幸 氏	3 0
	第4分科会 【俳句】	○テーマ 「現代俳句の多様なスタイル」	山田 岳星 氏	1 7

※参加者数は宮崎県教職員互助会調べ

③ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

内容：自然理解及び自然環境保全の啓発活動の一環として、定期的な学術・文化講演会等を開催。（会場：視聴覚室）

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月21日(土) (第23回)	「科学と技術：私の40年にわたる研究・教育実践から」	水光 正仁 氏 (宮崎大学理事・副学 長)	25
2	7月16日(土) (第24回)	「FAOの世界農業遺産に認定された『高千穂郷・椎葉山地域』 これまでの取り組みと今後」	牛谷 良夫 氏 (宮崎県農政水産部農 政企画課)	32
3	11月19日(土) (第25回)	「今、宮崎からソバのルネッサンスを！ 新しい食文化展開にむけて (13th ISB報告)」	足立 泰二 氏 (みやざき自然塾理事 長)	17
4	1月22日(日) (第26回)	「わが句作と宮崎の自然」	福富 健男 氏 (元宮崎県農政水産部 農業大学校校長)	65
5	3月18日(土) (第27回)	「司祭としてのマンショが手にしたであろう『サカラメンタ提要』が語るもの」	竹井 成美 氏 (宮崎大学名誉教授)	64

(14) その他の取組

県民の文化的なゆたかさの向上をはじめ、読書振興、学習機会の提供に資するため、郷土の歴史・文化の探訪や、想像力・表現力を高める文章づくりの勉強会を主催した。

① 「牧水が見た風景 ～伊藤名誉館長と訪ねる牧水のふるさと～」

内容：歌人である当館の伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水の故郷を訪ねるバスツアーを実施した。

期 日	内 容	参加者
11月8日(火)	・牧水生家、裏山歌碑見学（日向市東郷町坪谷） ・若山牧水記念文学館見学 ・参加者による短歌創作と伊藤一彦名誉館長の講話・講評	29

② 「文章づくり教室」

内容：元高校教員で各種文芸誌の編集委員等を務める鶴ヶ野勉氏を講師として、文章をつくる楽しさや基本的な知識・技能を学ぶ教室を実施した。

回数	期 日	内 容	参加者
第1回	7月23日(土)	小学生高学年～中学生コース ・「基本編～文章を書いてみよう」 ・「応用編～文章を書く材料を集めよう」	4
第2回	7月30日(土)		2
第3回	8月27日(土)	高校生～一般コース ・「初級編」 ・「中級編」 ・「上級編」	18
第4回	10月15日(土)		17
第5回	12月3日(土)		16

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び県立図書館条例（昭和25年条例第49号）第2条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委員（任期 平成28年7月1日～平成30年6月30日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
社会教育関係者	宮崎大学准教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社文化部長	高見 公子
〃	延岡市立図書館長	宮田 喜夫	〃	(株)グローブ・プロダクツ代表取締役	内田 五郎
〃	南九州短期大学講師 (公募委員)	柚木崎 千春	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県PTA連合会副会長	野瀬 直子
学校教育関係者	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校長	内田 信昭	〃	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター理事	長谷川 恵子
〃	宮崎市立東大宮中学校教諭	増岡 礼二郎	〃	主婦(公募委員)	大西 恵美

※ 所属・職名については、平成28年7月1日現在。

② 平成28年度の開催状況

開催年月日	協議事項
平成28年8月31日	ア 宮崎県立図書館運営方針等について イ 平成27年度事業実績について ウ 平成28年度新規事業について エ 図書館評価について オ その他
平成29年3月21日	ア 宮崎県立図書館ビジョンについて イ 平成29年度改善事業について ウ 図書館評価について エ その他

(2) 宮崎県立図書館ビジョン懇談会

県立図書館の今後のサービスや組織のあり方について、県内有識者に専門的見地から意見を聴取し、長期的視点での県立図書館振興に資するため、平成28年度に限り設置された。事務局は、宮崎県教育庁生涯学習課である。

全3回にわたる懇談を経て、提言「これからの宮崎県立図書館について」（平成28年11月16日）がまとめられた。

- ・アドバイザー 糸賀 雅児 氏（慶應義塾大学文学部教授）
- ・懇談会委員 根岸 裕孝 氏（宮崎大学准教授） ほかに9名 ※所属・職名は任期中のもの
- ・開催状況 第1回 平成28年5月13日（金）
第2回 平成28年7月22日（金）
第3回 平成28年9月26日（月）

(3) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

平成28年度は、下記のと通りの事業を実施した。

① 役員名簿（平成28年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	福田裕幸	
副会長	延岡市立図書館長	宮田喜夫	
〃	諸塚村中央公民館図書室長	甲斐誠	
監事	国富町立図書館長	瀬尾孝徳	
〃	綾てるは図書館長	中村清久	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	

② 事業実績

<会議>

期日	会場	議題
平成28年 5月30日	県立図書館	I 総会 1 平成27年度事業実績及び収支決算報告 2 平成28年度事業計画案及び収支予算案 3 平成28年度役員選出 4 協議事項 ・障がい者へのサービスについて ・携帯電話での資料撮影について ・嘱託司書の雇用について ・相互貸借における新刊の取扱について ・雑誌永年保存の基準について 5 表彰式 II 研修会 1 講演 ・演題 「小さい島での図書館モデル ー島まるごと図書館構想ー」 ・講師 磯谷 奈緒子 氏（海士町中央図書館主任） 2 事務連絡 (1) 県立図書館各担当 ・県立図書館利用の手引きの説明 ・有料宅配サービス (2) 環境情報センター ・出前講座の紹介等
平成29年 3月13日	県立図書館	中心館会議 1 平成28年度各支部の事業執行状況について 2 平成29年度に向けて

<研 修>

期 日	会 場	内 容
平成28年 6月27日	県立図書館	専門研修会 ・講 義 「図書館に知っておいてほしいディスレクシアのこと」 講 師 牧野 綾 氏 (調布デイジー代表 調布市立図書館嘱託)
平成28年 7月 4日	県立図書館	新任職員研修会 (講師等はいずれも県立図書館職員) ・説 明 「図書館ネットワークの活用法について」 ・講 義 「資料の収集等について」 ・講 義 「著作権について」 ・ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」
平成29年 1月16日	県立図書館	職員研修会 ・講 義 「行政・議会との連携から始めよう：図書館の課題解決サービス入門」 講 師 豊田 高広 氏 (田原市中央図書館館長) ※ 当日、悪天候で講師が来県できず中止
1月16日	県立図書館	レファレンス研修 ・講 義 「レファレンス協同データベースの利活用」 講 師 藤田 千紘 氏 (国立国会図書館関西館 図書協力課協力ネットワーク係)
平成29年 2月 6日	都城市立 図書館	地区別研修会 ・講 義 「児童サービス担当から始まる地域資源再発見」 講 師 島津 芳枝 氏 (宇佐市民図書館副主幹)

<県外研修派遣>

5名

<図書館アドバイザー派遣>

9館

③ 平成28年度総会表彰者名簿

読書普及優良団体・個人

読 書 団 体 名	代 表 者 名
ぽっぷこ〜ん (宮崎市)	竹之下郁代
ゴーシュの会 (串間市)	加藤 良恵
布絵本クラブ (延岡市)	高館 宏子

優良職員

所 属	職 名	氏 名
該当者なし		

(4) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

〈役員会〉

平成28年5月25日（水） 会場：県立図書館研修室
総会に諮る決算・予算、事業計画について審議が行われた。

〈総会・研究発表会〉

平成28年6月15日（水） 会場：県立図書館研修ホールほか

・総会

役員会で協議した提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、10月の秋季研究発表大会延岡大会について、延岡地区の担当者から概要説明があった。

・研究発表会

宮崎市佐土原歴史資料館の瀧川哲哉氏を講師に招き、「佐土原の寺社」と題して講演いただいた。

〈秋季研究発表大会〉

延岡大会（延岡市）

平成28年10月28日（金） 参加者97名（12団体2個人）

内容 午前～視察（内藤記念館、延岡城址の2コース）

午後～研究発表

発表題：「井上延陵の生涯」

講師：古川 久師氏（延岡市教育委員会文化課）

〈その他〉

「地方史みやざき 第61号」の発行

② 役員及び加入団体

〈役員〉 任期：平成28年6月～平成30年6月

会長 飛田 博温（高鍋史友会）

副会長 日野 佐八郎（延岡史談会）、橋本 孝則（都城史談会）、本山 隆義（北郷町史談会）

監事 原口 勝（佐土原地区郷土史同好会）、湯浅 倉平（個人理事）

地区理事 柏田 公和（日向市史談会）、牧 貴（日向郷土文化研究所）

亀澤 轟幸（えびの市史談会）、齋藤 勉（小林史談会）

石川 正男（日南郷土史会）

顧問 杉尾 良也（宮崎県地方史研究会）

事務局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

(平成29年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	日野佐八郎	延岡市	佐土原地区 郷土史同好会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市 教育委員会	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	原 朋輝	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	飛田 博温	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	岩永 哲夫	宮崎市	南九州文化研究会	山下 博明	都城市
宮崎県地方史研究会 ※休会	杉尾 良也	宮崎市	日南郷土史会	石川 正男	日南市
宮崎県総合博物館	長友 重俊	宮崎市	串間史談会	吉田美代治	串間市 教育委員会
宮崎県民俗学会	原田 解	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市
宮崎県埋蔵文化財 センター	菅付 和樹	宮崎市			
日向郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市			

○団体会員：17団体 個人会員：6名

(5) 平成29年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育文化学部准教授	個人委員
2	歴史学(古代史、中世史)	永井 哲雄	元県史編さん室長	〃
3	歴史学(近世史)	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
4	歴史学(西洋史)	中堀 博司	宮崎大学教育文化学部准教授	〃
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
6	社会科学(法律)	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
7	語学(英語)	キム・ヘイン	オールみやざき営業課国際交流員	〃
8	〃(韓国語)	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
9	〃(中国語)	田宮 昌子	宮崎公立大学准教授	〃
10	〃(中国語)	園田 美伽	宮崎公立大学等非常勤講師	〃
11	〃(外国語一般)	稲吉 孝和	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
12	文学	大津 貞子	宮崎児童文学まりの会会長	〃
13	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
14	自然科学・歴史	長友 重俊	県総合博物館長	あて職委員
15	美術	飛田 洋	県立美術館長	〃
16	行政	河野 譲二	企業振興課長	〃
17	教育	坂元 厳	教育研修センター所長	〃
18	産業(フードビジネス)	津曲 雄二	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
19	健康	和田 陽市	都城保健所長兼小林保健所長	〃
20	衛生・環境	甲斐 俊亮	衛生環境研究所長	〃
21	工学	野間 純利	工業技術センター所長	〃
22	土木・建築	大坪 正和	技術企画課長	〃
23	農業	甲斐 典男	総合農業試験場長	〃
24	水産	田原 健	水産試験場長	〃
25	畜産	久保田 和弘	畜産試験場長	〃
26	林業	渡邊 幸一	林業技術センター所長	〃
27	体育	福満 千秋	スポーツ指導センター所長	〃
28	福祉(障がい者)	日高 孝治	障がい福祉課長	〃

【 参考資料 】

1 沿革

(1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和 49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和49年 3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年 3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年 1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年 3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年 1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年 3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年 3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年 1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年 3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。
昭和58年 1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5 号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。
昭和 63 年 10 月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11 月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成 元年 2 月	全国図書館大会準備会発足。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 元年 2月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書展」「稀観資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成 2年 1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成 3年 1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成 4年 3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成 5年 2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。
平成 5年 7月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。
平成 6年 1月	「杉田文庫 常設展」開催。
3月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかけ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業 特別展 「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。
3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）。
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 4 月	祝日開館試行開始。
5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県文化講座研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 22 年 4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 AV コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9 月 26 日から 11 月 26 日まで）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3, 000 冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアデイジー体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 39 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。 子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 5 月	伊藤一彦名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」(語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉)を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十五)刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館(福岡アメリカンセンター)及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法ー』」開催。
2 月	新県立図書館システム(iLisfiera V3)稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十六)刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	九州地区図書館の集いを共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設(全 20 席)。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十七)刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止(平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行)。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与式。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12 月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。
平成 29 年 1 月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 43 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十八)刊行。

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼 掌	27	昭和 47. 4	昭和 48. 3	杉田 利治	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼 掌	28	" 48. 4	" 51. 3	藪田 穂	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼 掌	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼 掌	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 主事兼掌	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼 掌	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼掌	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保博秋	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼 掌	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	52	" 29. 4		金子 洋士	"

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第 3号)
(最終改正 平成27年3月 教育委員会規則第10号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (9) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (10) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (11) 県立図書館協議会に関すること。
- (12) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (2) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (3) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (4) 図書館資料の利用に関すること。
- (5) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (6) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、図書館に、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
(複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。
(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

- 2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。
(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

- 2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

- 3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。
(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

- 2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。
(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

- 2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
- (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

附 則 (平成2年4月17日教育委員会規則第8号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成4年8月25日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則 (平成7年3月31日教育委員会規則第10号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成8年3月29日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成9年5月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則 (平成13年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年3月29日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年3月30日教育委員会規則第12号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年2月21日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則 (平成23年7月21日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月31日教育委員会規則第10号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

第1条 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。

3 議長は、委員の会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。

2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。

第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

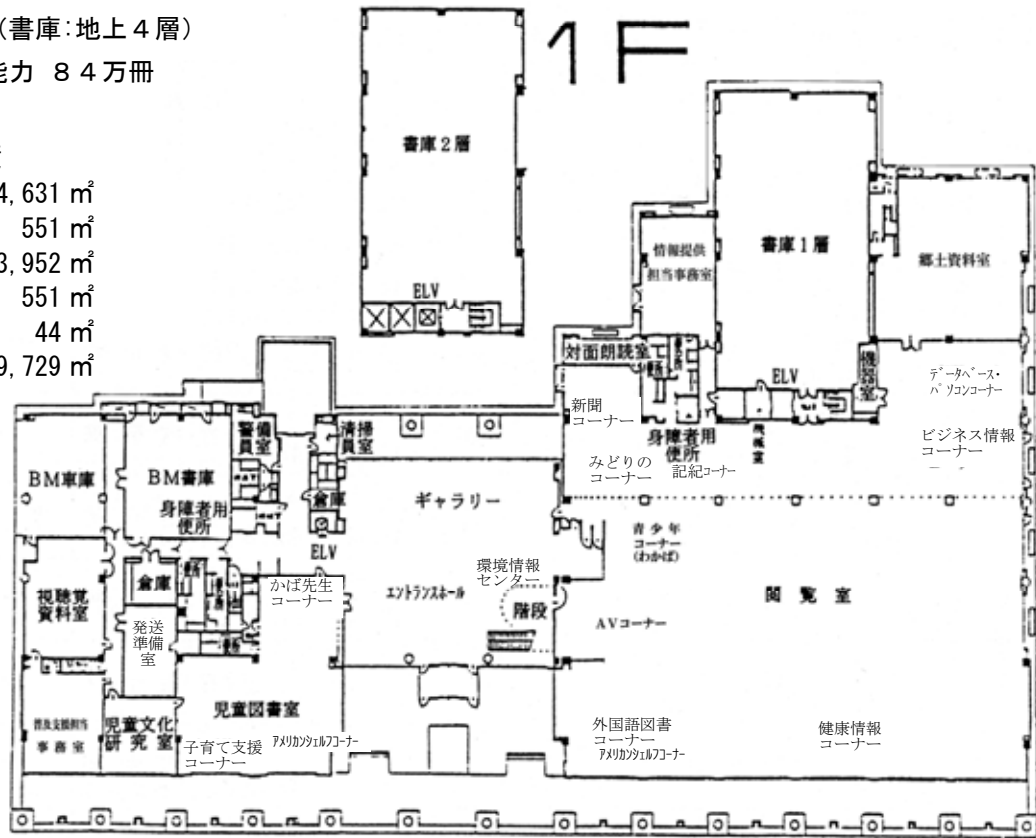
3 施設概況

(1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造
 地上2階（書庫：地上4層）
 図書収蔵能力 84万冊

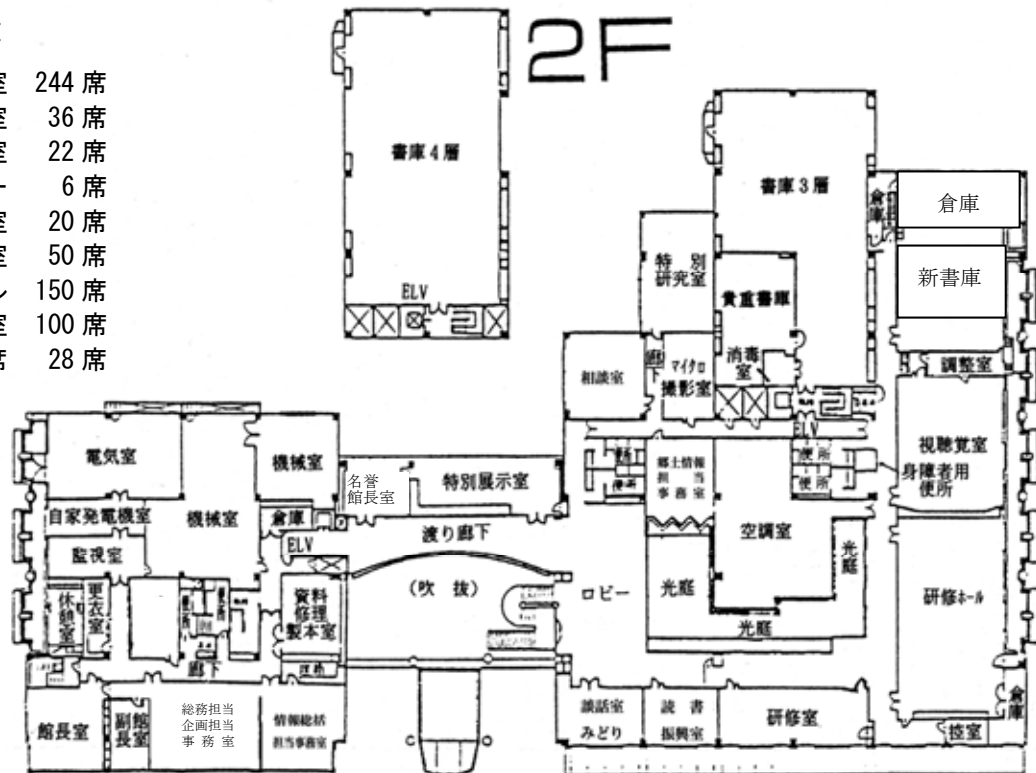
(2) 床面積

1階 4,631 m²
 551 m²
 2階 3,952 m²
 551 m²
 屋階 44 m²
 合計 9,729 m²



(3) 座席数

一般閲覧室 244席
 郷土資料室 36席
 児童図書室 22席
 AVコーナー 6席
 読書振興室 20席
 研修室 50席
 研修ホール 150席
 視聴覚室 100席
 パソコン席 28席



4 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（平成30年2月19日～平成30年2月26日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911 全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務・企画課総務担当

0985-29-2911 各種図書館事業の企画・広報・・・・・・・・・・総務・企画課企画担当

0985-29-2956 やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業・・・・・・・・・・総務・企画課普及支援担当

0985-29-2970 資料の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報総括担当

0985-29-2596 図書の貸出・返却・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

0985-29-2972 資料に関する問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

0985-29-2954 郷土情報に関する問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課郷土情報担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

(5) 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp（代表）

service@miyazaki-pref-lib.jp（サービス）

soudan@miyazaki-pref-lib.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	二宮 俊尚	〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平6.5
宮崎市立佐土原図書館	関屋 和光	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16.4
都城市立図書館	森 竜一	〒885-0073 都城市姫城町7街区22号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23.4
都城市立高城図書館(分館)	森 竜一	〒885-1202 都城市高城町穂満坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21.4
延岡市立図書館	丸山 奈緒美	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	大7.7
延岡市立図書館北方分館	末永 富雄 (兼)教委北方室長	〒882-0125 延岡市北方町川水流卯1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13.4
延岡市立図書館北浦分館	前山 昌俊 (兼)教委北浦室長	〒889-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24.3
延岡市立図書館北川分館	赤木 正久 (兼)教委北川室長	〒889-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25.4
日南市立図書館	岡本 武憲 (兼)生涯学習課長	〒889-2535 日南市飲肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25.1
日南市立まなびピア図書館	岡本 武憲 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14.3
日南市立北郷図書館	岡本 武憲 同上	〒889-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元.8
日南市立南郷図書館	岡本 武憲 同上	〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX 0987-64-0930	平7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41.6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 小林市野尻町東麓1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22.3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 小林市須木中原1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX 0984-48-2120	平22.3
日向市立図書館	海野 真里	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24.4
串間市立図書館	富高 賢	〒888-0001 串間市大字西方6524番地58 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51.4
西都市立図書館	蓑方 政幾 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2606-1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	荒谷 貴宏	〒889-4311 えびの市大字大明司2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50.7
三股町立図書館	宮内 浩二郎 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13.4
国富町立図書館	松岡 徳 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 東諸県郡綾町大字北俣462番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平16.7
町立高鍋図書館	川野 文明 (兼)社会教育課長	〒884-0003 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30.3
新富町図書館	河野 佐知子	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28.4
川南町立図書館	巻 庄次郎	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11.4
都農町民図書館	黒木 和秀 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	松田 朝子	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14.3
美郷町立西郷図書館	長尾 勇 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代645番地1 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636	平11.4
美郷町立北郷図書館	長尾 勇 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷字納間401番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15.5
美郷町立南郷図書館	長尾 勇 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-0129	平24.4
高千穂町立図書館	濱田 琢一 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723-1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49.7



Live!
Library
Miyazaki Prefectural Library

宮崎県立図書館

人づくりと地域づくりに役立つ図書館

所在地 〒880-0031

宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

普及支援担当 0985-29-2956

情報提供課

情報総括担当 0985-29-2970

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

情報提供課

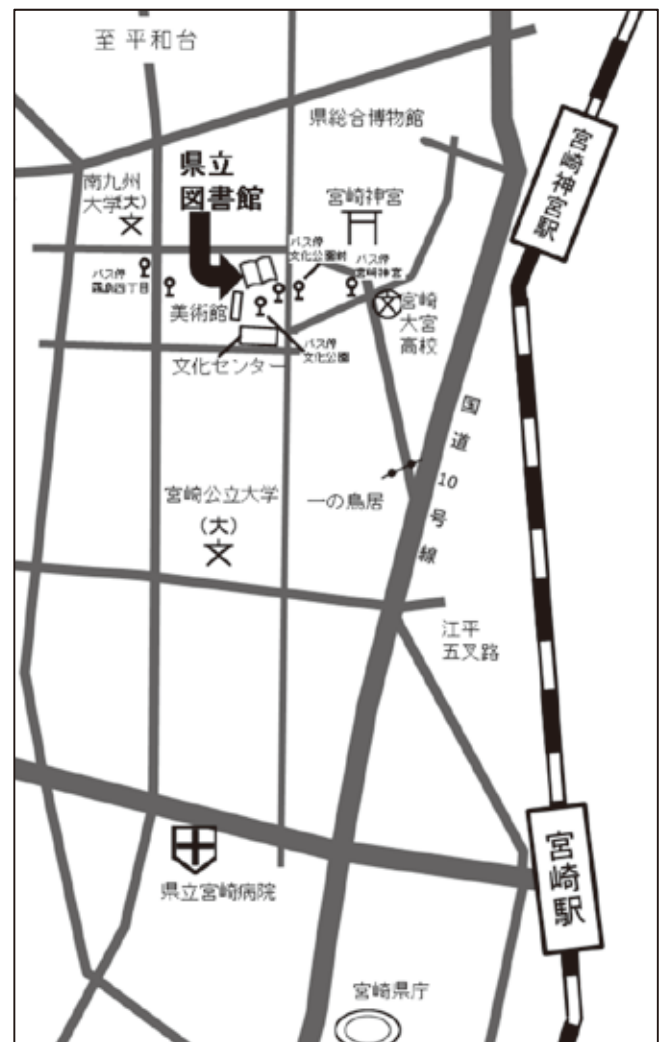
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp (代表)

ホームページアドレス

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



平成29年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 平成29年6月

発行人 宮崎県立図書館